

決算特別委員会から市に対する提言

決算特別委員会として、平成31年度決算の結果をふまえ、令和3年度の予算編成に生かすために以下の提言をまとめました。

○多様な財源の確保について

- 今後の歳出のさらなる増加が見込まれる中で、市民サービスの低下を招かないよう、政策的な財源の確保を求める。
- 税外収入の拡大、国・県補助制度の積極的な活用、IT環境整備の加速による業務効率の向上など、多様な財源確保のための施策を大局的な視点で進めること。
- 国民健康保険出産費資金貸付基金及び国民健康保険高額療養費資金貸付基金については、国の制度が拡充されたことから廃止すること。

○防災・緊急体制の整備について

- 近年被害が拡大している自然災害に対する対策費を充実させ共助・公助を強化し、防災の基本である自助意識の高揚を図りつつ、コロナ禍での避難所の対策、要配慮者に対する対策、市民への災害情報伝達、生活道路の改善を進めること。
- また、市内で発生した災害への災害対策基金の活用を検討するとともに、消防緊急通信指令システムの更新整備を行い、システムのバックアップを含めた検討を行うこと。

○子どものための環境整備について

- 子どもの居場所づくりのため、放課後子ども教室の設置促進や子ども食堂をはじめとした市民活動への支援拡充を行うこと。
- オンライン学習の体制を整備するとともに、家庭でも活用できる体制を支援すること。

○市民が集う公園施設整備について

- 公園の遊具・設備の老朽化が進む中で、利用者の安全を優先するための撤去はやむを得ない部分もあるが、撤去が先行してしまい、そのあとの設置・整備が十分進んでいない。公園施設の長寿命化計画については公園利用者の年齢層の推移や遊具の耐用年数を鑑みた設置及び撤去をセットにした計画とすること。